



◀釣り方の基本はゼロテンと誘いを兼ねた空合わせを一定のペースで繰り返す



▲釣り場は飯岡沖。水深15~20メートル前後の浅場を狙っている

★当日最大40センチ。浅場でこのクラスが掛かると青物のような強い引きを見せる



◀カットウ仕掛けのオモリは25~30号。エサはアオヤギ1パック付き、追加エサはアルゼンチンアカエビ

◀アオヤギエサは、エサバリの軸が隠れるくらいたっぷり付ける

九十九里飯岡港出船

飯岡沖のショウサイフグ 特大の期待高まる 好シーズン突入

撮影◎鈴木 良和

◀丸まると膨らんで上がってきた30センチ級



▼食いが立ったらテンボよく釣ろう

▲チラシバリ仕掛けを使う人も



▲エサを取られる前に掛けられればベスト

▶この位置に掛けられれば合わせのタイミングはバッチリ



九十九里飯岡沖のショウサイフグが久びさに好調だ。水深13~20メートル前後の浅場で日によってはトップ30尾以上の釣果も見られ、産卵期を迎えた20~30センチ級の良型主体に時折40センチ級の特大サイズが交じってくるうれしい展開。

釣り方はアオヤギエサのカットウ釣り。この時期はアタリが微妙なので、頻繁にシャクリを入れたり、竿を大きくあおつての誘いも必要。そんな駆け引きがカットウフグの魅力でもあり、おもしろさでもある。

(詳細は50ページ参照)



◎九十九里飯岡港・幸丸 実川 和也船長